

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

男子Aリーグ戦

岡山県選抜

5

1	－	2
1	－	4
2	－	2
1	－	2

10 福岡県選抜

PSO

武松 直輝

審判：

松本千菜津

この試合のプレー集計

岡山県選抜	22	SH数	16	福岡県選抜
	1	速攻数	2	
	8	ST・SB	6	
	4	SH・P誘発アシスト	5	
	17%	GK阻止率	62%	
3	EX反則数	6		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

決勝トーナメント進出をかけた一戦。両チームともに攻守に決め手を有するわけではないので、いかに自チームのペースで試合を継続できるかが勝負の分かれ目となるだろう。特に、爆発的な攻撃力があるわけではないだけに、連続失点となるような試合展開は避けたいところ。

【1P】

スタート直後、福岡②井堀の6mSHで先制。岡山も⑧原のフリースローSHで応戦し、互角の攻防が予想される序盤。岡山が退水を誘発してチャンスをつかむが、パス回しでミスし、そこで逆に退水を奪われ、失点（岡山1－2福岡）。その後、岡山は退水を誘発してのチャンスも、相変わらずのパス回しミスで好機を逸し、そのまま第1ピリオド終了。岡山が退水攻撃時に、きちんと右サイドにボールを回せばセットが安定するわけだが、そうした基本プレーにまだ課題がある状況だ。

【2P】

⑧原がセンターでシュートを決めて、岡山が同点に追いつく。福岡はゴール前でペナルティを誘発し、④大野が勝ち越し点を奪うと、一気にペースは福岡へ。岡山の攻撃ミス突いて、②井堀、③中尾が連続得点。ここで岡山ベンチはタイムアウト。しかし、福岡GK①東のファインセーブを起点にセンター⑧勝木がペナルティを誘発から加点。さらに岡山側のペナルティSHも福岡GK①東がここでもセーブ。完全に福岡ペースで前半を折り返した（岡山2－6福岡）。福岡GK①東は自身右手へのシュート反応が素晴らしく、脚力も十分。

【3P】

波に乗る福岡は、スタート後の右展開から左サイド④大野が決めて、さらに点差を広げてゆく。福岡が数的有利な攻撃時のミスから岡山が逆襲し、⑤竹藤が右ポストから決めてようやく流れを止めたが、直後に福岡センター⑧勝木が取り返す。岡山もようやく落ち着きが出るようになり、センター⑥和泉が決めてペースが少し傾くようになった。しかし、退水攻撃時のセットバランスが悪く、なかなかリズムに乗れないまま第3ピリオド終了（岡山4－8福岡）。

【4P】

岡山は再三の退水攻撃時でのパス回しミスで失敗し、そこを福岡が突くという展開で岡山は点が入らずに焦りの色が濃くなった。そうした展開が続き、岡山のシュートミスを福岡が突いて福岡GK①東からのロングパスを受けた④大野が独泳を決めてほぼ勝負あり。その後、両チームが1点を取り合うが、最終的に岡山5－10福岡で、福岡が決勝トーナメント進出に大きく前進した。

戦前の予想通り、連続失点が勝負の分岐点となったわけだが、岡山側は退水攻撃での起点が不明確で、1つ1つのパスに時間がかかりすぎ。福岡側の守備がほとんど動かさずに対応できるため、有効なシュートにまで至らなかった。退水攻撃時にセンター付近にスペースを作り出すためにはサイドに素早くボールを散らし、パスそのものをテンポアップして守備側を動かすことが基本。それらを選手全員が共有していることがチームだ。この時期に明確な課題が見つかったことで、地道に積み重ねていってもらいたい。